

教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和3年11月16日号 多治見市教育委員会 教育総務課

『学びの秋』 幼・小・中の研究発表会



各学校及び園では、『学びの秋』が深まるように取り組んでいます。10月26日(火)には、精華小学校、11月5日(金)には、小泉中学校、11月11日(木)には、笠原幼稚園において研究発表会が開催されました。いずれもコロナ感染防止対策を踏まえた発表

会でした。精華小学校では、東濃の研修校としての発表会も兼ねているため、事前に授業を録画してリモートによる研究発表会を実施しました。授業の録画の日には、市教委も参観しました。授業では、児童がタブレットを活用して、仲間と高め合う姿を多く目にすることができました。小泉中学校では、「全ての生徒が学び続ける授業づくり」を研究主題に設定し、小集団による活動を重視して取り組んでいました。教え合いをしながら仲間と共に学ぶ姿をたくさん目にすることができ研究実践の深まりを感じました。笠原幼稚園では、「夢中になって遊ぶ子を育てる」をテーマにして発表しました。忍者になりきって遊ぶ子、祭りの店員になりきって接客を楽しむ子、ハンドルを手にして動物の森を楽しむ子の姿がたくさん見られました。常に温かく認め励ましてくれる先生を信頼し、笑顔で頑張る子ども達の姿が印象的でした。

多治見市通学路安全推進協議会

緊急事態宣言のため延期されていましたが、10月19日に開催することができました。国道、県道、市道の各道路管理者と警察、小中学校長、PTA 代表の方々に、7月に合同点検した通学路の62カ所についての対策を協議していただきました。千葉の痛ましい交通事故を受けて、児童生徒の安全を守るための通学路対策の重要性を踏まえて丁寧に協議していただきました。多くの箇所、注意喚起の標識の設置や路面標示や、カラー塗装等の対策を実施することが決まりました。対策が困難な箇所については、学校への見守りや注意喚起を確認しました。

挨拶で絆の日・「三行詩」市内コンクール



10月26日(火)に、今年度2回目の『挨拶で絆の日』を実施することができました。

どの校区においても、青少年まちづくり市民会議の皆さんを中心にして、PTAや生徒会等と一緒にあって、登校してくる児童生徒と挨拶を交わす姿があふれていました。爽やかな朝の時間が流れました。

また、今年度も、親育ち4・3・6・3たじみプラン推進事業の一環として「家族の約束十二か条三行詩」市内コンクールを実施することができました。各PTAと市P連との連携のもと審査が行われました。応募総数が昨年より約200作品増えたことを大変うれしく思います。紙面の都合上、入選作品の中の最優秀賞の作品を紹介します。

<小学校低学年の部> おはよう きゅっ きょうもいちにち やるきパワー!

<小学校高学年の部> 「ただいま」「おかえり」先に言うのが勝ちのわが家のルール

<中学生の部> ありがとう つたえることに いみがある

<一般の部> つないだ小さな手 パワーをおくるね 大きな夢つかみとれ

土曜学習・なぞときツアー

令和3年10月30日(土)に産業文化センターを拠点に、『多治見探訪 下街道 なぞときツアー』を開催しました。当日欠席の児童もありましたが、33名の小学生と20名の中学生ボランティアが参加してくれました。15名の多治見観光ボランティアガイドの皆さんに講師として参加していただきました。

おだやかな秋空のもと、散策して史跡を見学して楽しく多治見の歴史を学ぶことができました。江戸時代までは、土岐川右岸の堤防道が下街道であったこと、ながせ通りに、下街道から虎溪山永保寺までの道標があること、ながせ通りの山周商店に屋根神様が祀られていることなど、たくさんの発見があり、子ども達も興味深く見学していました。また、中学生ボランティアの活躍ぶりに感心しました。

